

令和元年度
藤岡市
人・農地プラン
小野北部地域

市町村名	藤岡市	集落／地域名	立石新田・中島・森新田地区
当初作成年月日	平成24年10月	分割作成年月日	平成29年 2月
更新年月日（1回目）	平成30年 3月	更新年月日（2回目）	平成31年 3月
更新年月日（3回目）	令和 2年 3月	更新年月日（4回目）	令和 年 月
更新年月日（5回目）	令和 年 月	更新年月日（6回目）	令和 年 月
更新年月日（7回目）	令和 年 月	更新年月日（8回目）	令和 年 月

1. 今後の地域の中心となる経営体（担い手）

No.	個人 コード	属性	経営体 (氏名)	経営者 等の年 齢	構 成 員 数	後 継 者 の 有 無	現状 [令和元年度]		計画 [令和6年度]		農 地 中 間 管 理 事 業 利 用 希 望 の 有 無	今後の 取組内容	取 組 年 度	今後活用が見込まれる施策等					備 考
							経営内容 (作目等)	経営規模 (ha・頭羽数)	経営内容 (作目等)	経営規模 (ha・頭羽数)				農業次世 代人材投 資事業	金利軽減 措置	経営体育 成支援事 業	その他国 庫事業	その他県 単補助事 業	
1	56	1 認農・個人	B A	54 歳	1 名	×	露地野菜 施設野菜	0.42 ha	露地野菜 施設野菜	1.00 ha	○	3 高付加価値化	既	×	○	○	△	○	
2	57	1 認農・個人	B B	43 歳	1 名	×	露地野菜	0.30 ha	露地野菜	0.80 ha	○	4 複合化	既	×	○	○	△	○	
3	65	5 認農・農事	B J 農事組合法人	66 歳	49 名	○	米麦 露地野菜	17.80 ha	米麦 露地野菜	23.00 ha	○	4 複合化	既	×	○	○	△	○	
4	84	1 認農・個人	C B	72 歳	2 名	×	米麦種子	2.59 ha	米麦種子	2.80 ha	○	3 高付加価値化	既	×	○	△	△	○	
5	86	1 認農・個人	C D－1	65 歳	3 名	×	米麦種子 露地野菜	1.12 ha	米麦種子 露地野菜	1.30 ha	○	3 高付加価値化	既	×	○	△	△	○	
6	87	2 認農・共同	C D－2	61 歳	一 名	×	米麦種子 露地野菜	— ha	米麦種子 露地野菜	— ha	○	3 高付加価値化	既	×	○	△	△	○	
				歳	名														
				歳	名														

【記載上の注意】

- ※ 「今後の地域の中心となる経営体」には、規模拡大による経営の効率化、6次産業化による農畜産物の高付加価値化、経営の多角化・複合化、後継者の育成など、地域農業の発展を牽引する経営体や、将来こうした役割を担うであろう新規就農者等を経営体の意向も踏まえた上で記載する。
- ※ 「属性」には、認定農業者は「認農」と記載し、個人・法人の別、共同経営者・後継者の別等を記載。また、農事組合法人は「農事」、集落営農組織は「集営」、認定新規就農者は「認就」、就農後に認定農業者を目指してもらう者を「育成対象」と記載。年齢等により認定農業者の更新を行わなかったが、今後技術の承継を行うであろう者を「目標達成」と記載。
- ※ 「計画」欄は、おおむね5年後の経営内容・経営規模を記載（以下「計画」欄についても同じ）。
- ※ 「今後の取組内容」欄は、経営の維持・発展のために今後取り組もうとする内容を記載。
- ※ 「取組年度」欄は、取組開始年度を記載するが、以前より既に取り組んでいる内容については「既」と記載する。

2. 1 から見た地域における担い手の確保状況

担い手は十分確保されている

／

担い手はいるが十分ではない

／

担い手がいない

3. 将来の農地利用のあり方

取組事項	対応	
担い手に集積・集約化する	○	中心経営体への集積を進めていきたいが、担い手がいない。若い参加者がいれば引き入れていきたい。 一部旧耕地整理法に基づく区画整理はされているものの、大部分は不整形な農地が多く、道路等も劣化しているため、新規参加者の経営には厳しい状況がある。 農地によっては入っていけない場所もある。接道が非常に狭いので、道路の拡幅等、道の整備は必須と思われる。 基盤整備を行いたい、が、専業農家が少ないため話が進まない。 砂利を取っている農地があり、作れる作物が絞られるため、地域の法人も借りたくないという話が出ている。法人としては、やってほしいと言われればやるが、草だらけだったり水路を直す必要があるようなところはできないとのこと。
担い手の分散錯圃を解消する	○	
新規参入を促進して、新規参加者に集積・集約化する	○	
耕作放棄地を解消する	○	
その他[右欄に記載]	○	

4. 3 についての農地中間管理機構の活用方針

取組事項	対応	
地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○	貸借については、基本的に農地中間管理事業を活用していきたいが、現状では小規模農家が大半を占めているため担い手への集積ができていない。 高齢の農業者が増えてきており、今後、貸し手希望は増加傾向にあると思われるが、農地中間管理事業について知られていないため、地区レベルの説明会等を行った方がよい。
農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○	
担い手の分散錯圃を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○	
その他[右欄に記載]	○	

5. 地域の標準賃料について

標準賃料については、地域ごとに異なるが、田ではおおよそ6,000円～7,000円/10aが妥当である。
畑については使用貸借でないと借り受けできないという意見があった。ハウスの場合は10,000円/10aでも借り手があるとのこと。

6. 近い将来、農地の出し手となる者と農地

No.	個人 コード	農地の出し手となる 農業者	地区別	現状 [令和元年度]			貸借対象 農地面積	今後 [令和6年度]	農地中間管理機構への貸付等の有無			備考
				所有農地面積	経営農地面積	貸付済農地面積		経営農地面積		農地面積	貸付 時期	
1	16	P	小野	1.12 ha	1.12 ha	0.00 ha	0.23 ha	0.89 ha	○	0.2263 ha	随時	
2	49	A W	小野	0.20 ha	0.20 ha	0.00 ha	0.16 ha	0.04 ha	○	0.1619 ha	随時	
3	50	A X	小野	0.26 ha	0.26 ha	0.00 ha	0.19 ha	0.07 ha	○	0.19 ha	随時	
4	104	C Z	小野	0.57 ha	0.57 ha	0.00 ha	0.57 ha	0.00 ha	×	0.5712 ha	すぐに買したい	
5	105	D A	小野	0.67 ha	0.67 ha	0.00 ha	0.67 ha	0.00 ha	×	0.6709 ha	すぐに買したい	
6	106	D B	小野	0.77 ha	0.77 ha	0.00 ha	0.77 ha	0.00 ha	×	0.7715 ha	すぐに買したい	
7	107	D C	小野	0.38 ha	0.09 ha	0.29 ha	0.09 ha	0.00 ha	×	0.0896 ha	すぐに買したい	
8	108	D D	小野	0.60 ha	0.60 ha	0.00 ha	0.60 ha	0.00 ha	×	0.6005 ha	すぐに買したい	
9	109	D E	小野	0.31 ha	0.18 ha	0.13 ha	0.18 ha	0.00 ha	×	0.1815 ha	すぐに買したい	

7. 今後の地域農業のあり方

今後の地域農業のあり方（地域の中心となる経営体とそれ以外の農業者も含めて）		
取組事項	対応	コメント
生産品目の明確化		一部は耕地整理が行われている場所も有るが、大部分は不整形な土地で、道路幅員が狭く、農業用機械や軽トラックでも通行が困難な場所も多い。基盤整備を伴うような土地改良事業は現実的ではないが、道路の拡幅などの整備は必須と思われる。
複合化	○	
6次産業化		中島地区、立石新田地区では、田をやる人はほとんどいない。土地を集約し、10～15分で移動できるようでないと耕作は難しい。集約化ができれば借り手も見つかるかもしれない。まずは担い手へ農地の集積を進め、その後に集約していくことが望ましいと考えられる。
高付加価値化	○	ハクビシン・アナグマ・アライグマ等の小型鳥獣の被害がかなり出ている。檻の貸出などできるのかどうかかわからないが、駆除に協力したい。駆除・防除の講習会等もできればやってほしい。
新規就農の促進	○	
その他[]		

8. 今後の地域維持のあり方

市街化が進むであろう地域の特性上、土地改良が積極的に行われることは少ないと考えられる。こうした現状の中で地域の維持を図るためには、畦畔の除去や道路幅員の拡幅などを実施し、出来るだけ耕運にかかる手間を少なくすることが重要となってくる。

以前より基盤強化法等による利用権設定が積極的に行われていた地域ではないため、新規参入者が入っていきやすい部分もある。

土壌の性質から、大きく集積を行う必要のある作目を栽培しているわけでは無いので、農地全ての活用は難しい部分もある。小野南部地域の農事組合法人の力を借りるなどして、地域の小規模な農家を巻き込んで、維持を進めていく必要がある。

※ 今後、農地を含め地域の維持をおこなうため、地域の話し合いにより判明した問題点・地域維持のあり方をまとめる。